

No.21

県央・湘南の 環境と共生する都市づくり NEWS

2008.5

● 新幹線新駅の実現をめざす、環境共生の都市づくり通信 ●

新幹線新駅設置に伴う経済効果推計結果

～ 推計結果の概要 ～

P2

緑・水・生き物（生物資源）とまちづくり

日本大学生物資源科学部教授 勝野 武彦

P4

コラム「寒川新町長の新駅への抱負」

寒川町長 山上 貞夫

P6

県民フォーラム

「新幹線新駅と地域づくりを考える」を開催しました

P7

絵画コンクール表彰式の開催

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

P8



最新ニュース — 環境実態調査に着手しました —

新幹線新駅の受け皿ともなるツインシティについて、県、平塚市及び寒川町が、都市計画の案を作成するに先立って、周辺環境に与える影響を予測評価するため、環境の実態を把握する現地の調査を開始しました。調査は、年末まで四季を通じた1年間にわたり行う予定です。＜主な調査項目＞大気質、騒音、振動、動植物など

◇ ツインシティ（大神地区）

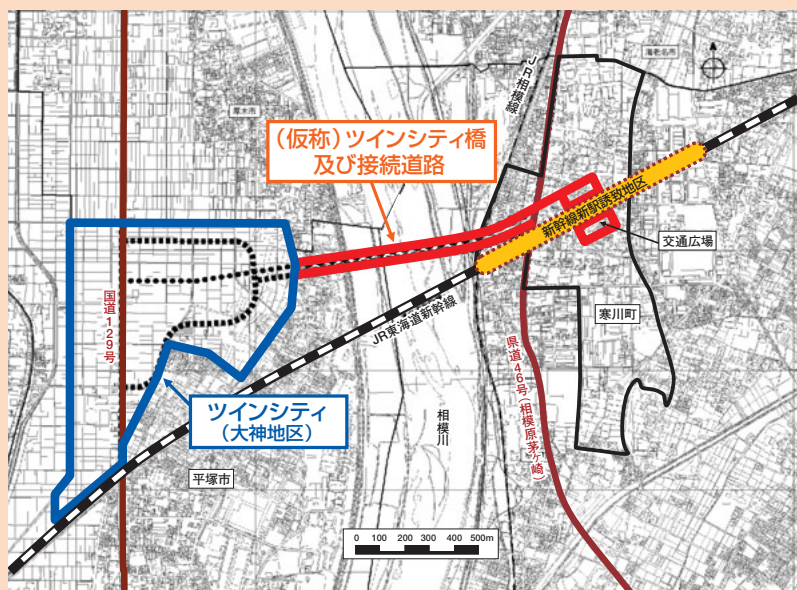
土地区画整理事業を想定している約70haとその周辺地域

◇（仮称）ツインシティ橋及び接続道路

新橋と接続道路とその周辺地域

（平塚市の大神地区内については、上記大神地区の調査で実施）

なお、大神地区については、神奈川県環境影響評価条例に基づき、手続きを実施中です。



今後の流れ

環境実態調査

予測・評価

反映

都市計画の案

都市計画決定



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

〔神奈川県、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、相模原市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会〕

新幹線新駅設置に伴う経済効果推計結果

神奈川県は、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅設置について、新駅の利用者数推計や、時間短縮効果などの直接効果推計、及び間接効果として都市圏域における経済波及効果の推計を行い、この度公表いたしました。

推 計 内 容

1 新駅利用者数

- ・新駅開業時及び開業から10年後の乗降客数を推計しました。

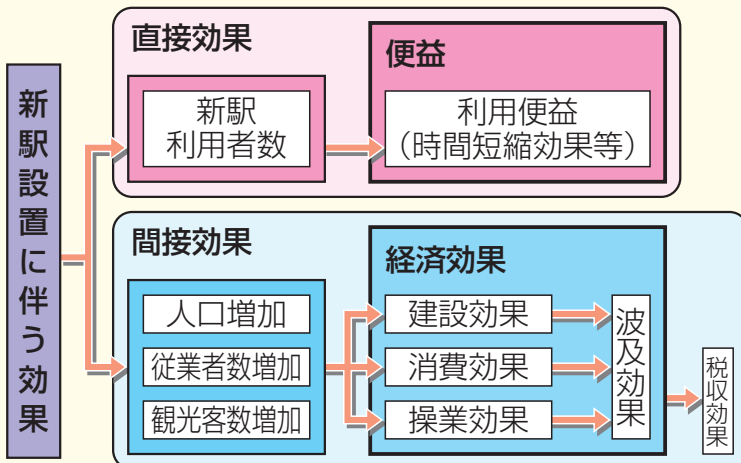
2 直接効果

- ・便益として発生する、新駅利用者による時間短縮効果などについて推計しました。

3 間接効果（経済波及効果）

- ・都市圏域における人口、従業者数、観光客数について、増加分を推計しました。
- ・その推計値を用いて、建設効果、消費効果、操業効果からなる「経済波及効果」を推計しました。
- ・更に、都市圏域における税収効果について推計しました。

経済効果推計範囲図



推計結果概要

1 新駅利用者数

開 業 時 約 11,100 人／日

開業 10 年後 約 13,500 人／日～約 14,200 人／日

新駅利用者の分布圏域を示すと、下図の青色の部分となります。

推 計 方 法 概 要

1. 新駅の開業時と開業10年後について、現実的に整備が想定される鉄道路線等を追加
2. 新幹線を利用することにより、追加で支払う特急料金等の額以上に時間短縮が図られる移動(〇〇駅→△△駅)を抽出
3. その移動の将来交通量を合算して、新駅利用者数を推計

新駅利用者分布圏域図



2 直接効果（時間短縮効果などの利用者便益）

開業時 約**47** 億円／年

開業 10 年後 約**61** 億円／年～約**68** 億円／年

3 間接効果

(1) 人口等

人 口 開業 10 年後 約**54,800** 人増加（高位約 93,500 人～低位約 16,200 人）

従業者数 開業 10 年後 約**38,700** 人増加（高位約 53,200 人～低位約 24,300 人）

観光客数 開業 10 年後 年間約**39** 万人増加

(2) 経済波及効果

建設効果（人口及び従業者数増加により発生する住宅や事業所等の建設に伴う経済効果）

開業後 10 年間 累計約**6,300** 億円（高位約 1 兆 200 億円～低位約 2,400 億円）

消費効果（人口、従業者数及び観光客数増加により発生する消費支出の増加による経済効果）

開業 10 年後 年間約**700** 億円（高位約 1,100 億円～低位約 300 億円）

操業効果（従業者数増加により発生する新たな事業所等が生産活動を行うことに伴う経済効果）

開業 10 年後 年間約**2,400** 億円（高位約 3,200 億円～低位約 1,600 億円）

(3) 税収効果

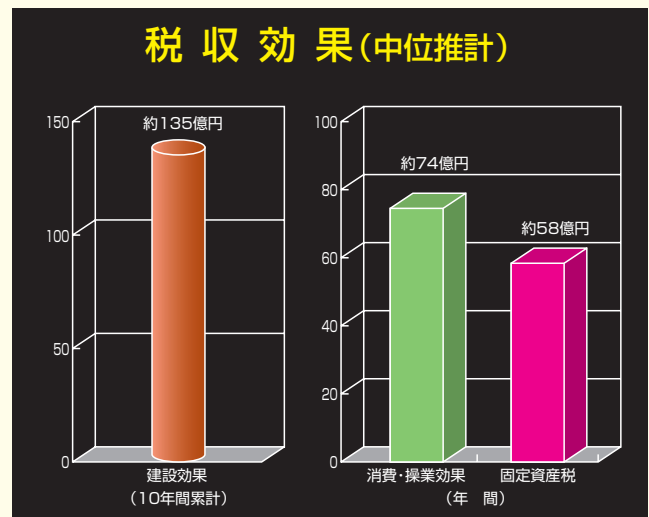
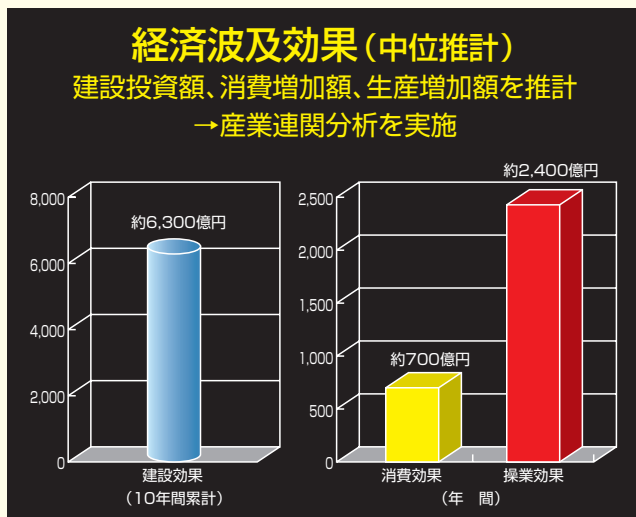
建設効果による税収増加

開業後 10 年間 累計約**135** 億円（高位約 219 億円～低位約 51 億円）

消費・操業効果による税収増加

開業 10 年後 年間約**74** 億円（高位約 104 億円～低位約 44 億円）

固定資産税増加 年間約**58** 億円



今回の推計は、神奈川県が（株）浜銀総合研究所に委託して実施しました。

推計結果を見る限り、1日当たり1万人以上の方々の利用が見込める他、利用者が直接受ける直接効果も相当程度見込めることから、この地域への新幹線新駅設置は、十分に効果が見込める事業であると考えられます。

また、将来的に人口や従業者などが増加して発生する、都市圏内の建設・消費・操業による経済波及効果を見ると、この都市圏が有するポテンシャルの高さが見て取れます。

今後、誘致活動により一層弾みをつけて、新駅誘致を進めるとともに、都市圏全体の今以上の活性化に向けて、取り組んでいきます。

緑・水・生き物（生物資源）とまちづくり

日本大学 生物資源科学部教授
勝野 武彦

桜が満開の川沿いを多くの人が春を満喫して散歩しています。戦後、川から農業用水を得ると同時に季節の楽しみを想って植えられた桜が、今は都市河川に様変わりし、農業用水の利用はなくなったものの都市住民に自然の素晴らしさ、美しさを提供しています。

川の大小はあるものの県中央部を流れる相模川水系に沿った市町でも、土手の桜と近隣の人たちとの繋がりには似ています。県央・湘南地域を概観すると、ここに見えない流れを想起できます。湘南は東西の、県央は南北の流れです。これは自然の地勢や社会歴史的な文化の形とも関係しています。自然の要素では、東西に連なる丹沢山塊や湘南の海岸線、南北の相模川や相模・高座丘陵台地から構成されています。季節風は東西に、一日の風は海からと山から交互に南へ北へ流れます。

私達の生活では緑や水、それにいろいろな生き物達が潤いや美しさ、さらに喜びや楽しさを与えてくれます。ただし、その為にはその場所や装置（資源）が正しく存在していなければなりませんし、その資源を身をもって体験することが必要です。

これまでの街づくりでは、緑や水・生き物などが十分に取込まれてきたとは言えず、そのため、後からそれに近づくための努力がされていますが、十分・適切とは言えない所に来ています。かつて「田園都市」が産業発展と共に叫ばれ生まれたように、今後も緑や水の豊かな、生き物などと共生できる「街・まち」が求めら



コンパクトシティの例 1：国鉄の操車場の跡地

部分的に使用しない部分が自然の遷移で森に帰り、そこを旧鉄道敷きをサイクリング道路に付け替えたり、自然の復元の緑地にしたりしている。

れます。1980年代ドイツでは「都市と自然、都市へ自然を」の動きが活発化し多様な自然（緑と水に代表され）を取り込んだ町づくりが進められてきました。都市全体の中で「緑のオープンスペース」の確保と同時に緑や水・生き物の質的な点に注目されはじめました。緑や水辺の少ない市街地では建築物の屋上や壁面、さらには中庭などに積極的に緑や水辺空間が復元・創出されてきていますし、地区では自転車や歩行者に優しい緑道や歩道、流れや水辺、多様な内容を持った公園が再生・創出され、街全体に緑のネットワークが作り上げられてきています。自分たちの身近な緑が街の中で、どんな役割を持っているか人々は考えるようになってきています。場合によって手を入れないで自然に任せる方法が採られたり、それとは逆で積極的に手入れをして綺麗に美しく作られる場合もあります。個人の庭や都市の公園の緑、水辺は大変多様な

形と内容を持ってきています。それが今日の「生物多様性」に繋がってきています。これからの街づくりでも、この「緑と水・生き物」を核心として考え、量的のみならず質的にも十分に地域・地区の特性を併せ持つことが大変重要になってくると思います。街自体がいろいろな特徴を持ち役割を果たすとしたら、まず十分なオープンスペース（緑地）を確保することが必要です。オープンスペースの働きが（保全でも利用でも）多様であり、多様な緑、多様な水辺が多様な生き物を維持し市民・住民の多様な利用と調和することができます。

緑や水・生き物を具体的に計画しデザインするとすると基本的な考え方が大切になります。自然的な地勢、資源を十分考慮し居住・来訪・通過といった「多様な人」の特性と街の特徴を考えなければならぬでしょう。街づくりで自然（緑や水・生き物）を取り込むとき、空間（地域から地区まで）の大きさと時間の長さ、それに対応した内容を考えなければなりません。生き物はそれぞれに異なった「物差し」や「動き」、「繋がり」を持っています。部分的な緑や水の空間のデザイン・整備は、地域全体トータルなデザイン・整備との繋がりが必要です。個々の部分のデザインがバラバラに存在することは統一や連携を欠くことになり機能しないでしょう。自然（緑や水・生き物と繋がり）を改変するの

は直ぐにできますが、育成するためには長い年月が必要です。人が街をつくり街が人をつくります。計画に際してはこの時間的要素を十分考えていくことが大切になります。



コンパクトシティの例2：採炭場の跡地
残土を盛り上げながら土造成をし、敷地の半分以上に水辺、草地等を確保して工場を誘致している。

ツインとは2対象＝対照、対称、均衡＝バランスとも考えられます。それぞれ特徴を持った一つづつが二つ位置し拮抗、調和しお互いを補完し共存する形が浮かびます。自然（緑と水・生き物）には形や機能でツインは基本でもあるように見受けられます。人間の感覚の多くは目、耳、手足でその多くを感じ取ります。「人」の文字も二つが寄り添ってお互いに助け合う形のように成っています。人と自然が調和した街・ツインシティが生まれ、造られることを期待したいと思います。

勝野 武彦 （かつの たけひこ）

日本大学 生物資源科学部 植物資源科学科 造園・緑地学研究室
専攻 造園学、緑地計画学 景観生態学

1970年 東京大学大学院農業生物学研究科 修了
1971年 日本大学農獣医学部（助手）
1973-74年 西ドイツハノーファー工科大学
1983年 日本大学農獣医学部（助教授）
1993年 同 上 （教授）
1996年 日本大学生物資源科学部：学部名称変更（教授）
～現在に至る



こうち

寒川新町長の新駅への抱負

このコーナーでは、平成19年9月に地元寒川町の新町長に就任されました、山上貞夫町長に新駅等への抱負をお話いただきます。



新幹線新駅誘致地区

寒川町長 山上 貞夫
やまかみ さだ お



昭和18年生まれ、寒川町出身
平成19年9月2日の寒川町長選挙に
立候補し当選。
9月11日から第22代の寒川町長となる。
主な経歴：寒川町議会議員、寒川町議会
副議長、寒川青年会議所理事長、
寒川高校PTA会長、寒川中学校PTA会長

昨年の平成19年9月から、第22代寒川町長に就任いたしました寒川町長の山上貞夫でございます。私が町政をお預かりして、半年あまりが経過し、ますます、その重責を痛感しております。いずれにいたしましても、お寄せいただいた信頼を胸に、初心を忘れることなく、全力を傾注して今後も町政に取り組んでまいります。

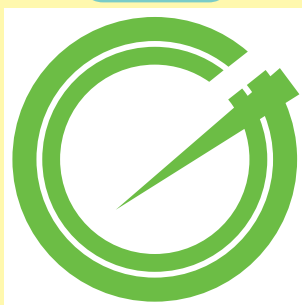
さて、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会で、東海道新幹線の新駅誘致地区が、寒川町倉見地区に決定してから、早10年の歳月が経過しました。この間、寒川町では町の総合計画である「さむかわ2020プラン」に新幹線新駅誘致地区周辺を都市未来拠点と位置付け、今日まで取り組んできております。

新幹線新駅の早期実現と環境と共生するツインシティ倉見地区のまちづくりは、県土の均衡ある発展を図るためだけでなく、当町では、またとないチャンスという認識のもと、町の将来の発展を大きく左右するたいへん重要な事業であり、次世代を担う子や孫たちにも誇れる将来の寒川を実現するためにも欠かせないものと考えております。

したがって、今後も、誘致地区地元自治体といたしましては、新駅実現に向け、計画的で良好なまちづくりの推進に鋭意努力し、一日も早い新幹線新駅の実現を願うものであります。

今後とも、近隣市や関係機関等と連携を図り、推進してまいりますので、関係各位のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

町章



町の花



すいせん

町の木



もくせい

町の鳥



ダイサギ

県民フォーラム

「新幹線新駅と地域づくりを考える」を開催しました

昨年11月25日（日）、寒川町民センターにおいて、県民フォーラム「新幹線新駅と地域づくりを考える」を開催しました。

当日は、約300名の方々のご参加のもと、慶應義塾大学総合政策学部 駒井正晶教授、産業能率大学経営学部 齊藤進教授、東海大学工学部 杉本洋文教授、松沢成文神奈川県知事が、それぞれの立場から、新幹線新駅の設置に伴う経済効果や、県央・湘南都市圏の地域づくりへの提案などを話していただきました。

【基調講演】

慶應義塾大学総合政策学部教授 駒井正晶
「新幹線新駅設置に伴う経済効果」



慶應義塾大学駒井教授の基調講演

【パネルディスカッション】

パネリスト

慶應義塾大学総合政策学部教授	駒井正晶
産業能率大学経営学部教授	齊藤進
東海大学工学部教授	杉本洋文
神奈川県知事	松沢成文

司会・コーディネーター

アナウンサー（元TVKテレビ） 原 良枝



パネルディスカッションの様子

新駅の設置に伴う経済効果について、講演いただくとともに、パネルディスカッションでは、その他にも、県央・湘南都市圏の魅力や、この地域がさらに魅力ある地域として発展していくための方策などについて、各パネリストに語っていただきました。

（順不同・敬称略）

講演やパネルディスカッションの詳しい内容や、当日ご参加の方々からいただいたご意見を、同盟会ホームページで紹介しています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/kankyou-kyousei/shin-eki/19forum.html>

「絵画コンクール表彰式」を開催しました

昨年11月25日（日）に行われた県民フォーラムの会場で、平成19年度「絵画コンクール」受賞者の表彰式が行われました。

この絵画コンクールは、平塚市と寒川町の小学生を対象に、「夢はこぶ新幹線・夢ひらくまち」というテーマで実施しています。

平成19年度は、25校から403作品の応募がありました（低学年の部175作品、中学年の部124作品、高学年の部104作品）。

ここでは、最優秀賞の神奈川県知事賞の作品を紹介します。



低学年の部



平塚市立神田小学校 2年
杉山 健斗さんの作品

中学年の部



寒川町立南小学校 3年
藤沼 希望さんの作品

高学年の部



平塚市立相模小学校 6年
檜垣 春帆さんの作品

東海道新幹線新駅の誘致活動については、期成同盟会のホームページでご覧いただけます。
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/kankyou-kyousei/shin-eki/>

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（平成8年5月発足）では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。同盟会を構成する県市町の窓口は、次のとおりです。

県・市町担当窓口			厚木市	市政企画部広域政策課	046-223-1511(代)
神奈川県	県土整備部県土整備総務課	045-210-6038(直)	伊勢原市	都市部都市総務課	0463-94-4711(代)
平塚市	まちづくり事業部まちづくり事業課	0463-23-1111(代)	海老名市	まちづくり部駅周辺対策課	046-231-2111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111(代)	座間市	企画財政部政策課	046-255-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111(代)	綾瀬市	企画部企画課	0467-77-1111(代)
相模原市	まちづくり計画部都市交通計画課	042-754-1111(代)	寒川町	都市建設部新幹線新駅対策課	0467-74-1111(代)

発行

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会〔事務局：神奈川県県土整備部県土整備総務課〕
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1
 電話：045-210-6038 ファックス：045-210-8879
 Eメール：下記のホームページの問い合わせフォームをご利用ください。
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/kankyou-kyousei/shin-eki/>